



夏に鍛える

校長 山口 聡

梅雨入りし、不安定な天候が続いています。その中で、本校体育祭を6月18日に予定を急遽変更して実施しました。新型コロナウイルス感染症対策のため、保護者の方や地域の方に体育祭を参観していただくことができず、大変残念なことでしたが、その環境の中でも熱い情熱をもって真剣に競技や係活動に取り組む姿に、桜木中学校の生徒たちの底力を見ることができました。素晴らしい体育祭にしてくれた生徒諸君に賛辞を贈りたいと思います。



体育委員代表による力強い選手宣誓

夏が近づいてくると「夏に鍛える(きたえる)」と書かれたスポーツジムや学習塾のチラシが我が家の新聞によく入ってきます。この夏にジムに入会して筋肉トレーニングをして体を鍛えよう、夏期講習で学習面を鍛えよう、などといった広告です。漢字の『鍛える』は『金片(かねへん)』です。不思議だと思いませんか。多くの人がテレビなどで刀や刃物を造る時に金属を叩いている映像を見たことがあると思います。もともと『鍛える』という言葉は「高温に熱した金属を繰り返して打ったり水で冷やしたりして硬度・密度などを高め、良質のものにする」という意味があります。幾度も熱い金属を叩いて形づくることで、丈夫で良質なものを作り上げます。そのことから「練習・修練を繰り返し、技術や身体・精神をしっかりしたものにする。」の意味も生まれてきたのだと思います。

およそ3週間後にオリンピック、パラリンピックが開催される、いつもとは少し違う夏休みが始まります。1年生、2年生、3年生それぞれ違った「中学生の夏」があると思います。その中で学習や部活動に打ち込む時間を計画的に作り、自分が「自分自身を鍛える」時間としてほしいと思います。また、自分で自由になる時間もたくさんあることと思います。ぜひ、様々なことにチャレンジしてほしいと思います。

本校では熱中症予防の観点から、当面の間、制服または体操着による登校を行っています。また、登下校時に密にならないことに気を付け、マスクを外すなどの指導も行っています。マスクを着用していないことによる大人同士のトラブルのニュースがありました。生徒の登下校時もマスクを着けていないことによる同様のトラブルが起きるのではないかと心配されます。学校とつながりの少ない方々に向けて情報の発信を心がけてまいります。保護者の皆様にも地域の方々にお伝えしていただければ幸いです。